

平成23年度事業報告書

社会福祉法人武蔵野会
東堀切くすのき園

平成23年度 東堀切くすのき園 事業報告書

1. 施設運営・支援状況報告

(1) 施設運営

平成23年度も法人理念「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」に基づき事業を行った。

本年度は、利用者定員50人に対して53人の受け入れ（新規利用開始1人）を行った。利用者通年登園率は昨年度（87.6%）を下回る85.6%であった。土曜登園日は前年度と同日数(10日間)としたが、土曜日の平均登園率は69.6%であった。全般的に減少傾向見られるが、緊急一時、短期入所、ケアホーム設置等の要望が一層高まっているため、家族支援の困難化傾向が想像される。

登園率は減少したものの各種加算の取り込みにより施設収入は順調に推移した。今後も収入額に見合った、常勤職員配置や施設設備の整備、研修体制の充実にあてて行きたい。

職員については、4月に常勤職員を新規で3人（うち1人は、契約職員から繰り上げ）採用した。年度途中で常勤職員の退職者1人いたが、契約職員の採用で充当した。サービス管理責任者については支援係長が兼任し、利用者支援の進捗管理を行った。理学療法士は年度途中で退職となったが、同じ大学院研究室に在籍する理学療法士が時期を空けず入職したため切れ間ない利用者支援が可能であった。有期契約職員は例年のように出入りが多かったものの、現在は安定した勤務が可能となっている。新年度を見越した増員もスムーズであった。

利用者権利擁護の取り組みについては、人権に関する研修に参加したほか、朝礼時に「倫理綱領」の読み上げを行った。しかし、読み上げについては形式的になりつつあり、今後検討が必要である。行動制限廃止委員会は、行動抑制に対する家族の承認を得て、日々の支援を通じ行動制限の範囲縮小に努めているものの、個々の事案の具体的取り組みについては劇的な改善はみられていない。障害程度が重度であり、保護者が身体拘束に肯定的であるため解決すべき課題は非常に多い。

(2) 支援状況

平成23年4月は、特別支援学校を卒業した新規利用者1人が利用を開始し、53人の現員でスタートした。利用者グループ体制については、前年度に引き続き男女別グループを含む5グループ体制を継続した。同性グループ同士での協力や、必要に応じて混合グループを構成するなど、臨機応変に利用者支援が展開され、より濃密な支援が可能となっている。

家族サポートについては昨年同様利用者支援の延長線上にあるという位置づけで積極的に行った。具体的には、日常生活相談業務をはじめとして嘱託医師との健康相談や栄養相談。あるいは、緊急一時入所時の、入所施設との連絡調整等、本来は家族が独自に行っていくものではあるが、個々の家庭の状況によっては積極的に関与を行った。

土曜開所の状況は昨年と大きな変化はない。前述のとおり、若干利用率が下がっているが100%登園する方もおり、引き続きニーズは高いと考えている。

理美容サービスは2年目を迎えたが、利用者と施術者との関係性も高まり非常に安定した提供ができた。一方で、質の向上を望む保護者の声も高まりつつある。

自己都合による長期欠席者の状況は、引き続き家族を含めて支援を継続しているが、家庭内での対応に限界があり改善傾向はあまり見られていない。

(3) サービス評価と苦情解決

福祉第三者評価受審については、昨年同様利用者聞き取り調査、保護者アンケート、職員アンケート、経営層合議を経て、標準項目を全て満たしているとの評価を得た。特に評価された点は、①利用者・保護者の意向を大切にし、コミュニケーションを深めることで信頼関係を作り上げている、②職員が支援の専門職として、やりがいを持って働くことができる職場を目指し、様々な取り組みを行っている点、③看護師・栄養士による摂食指導が行われ、「柔らかか食」を導入し、必要な支援が行われている点であった。さらなる改善が望まれる点は、①今後予想される利用者・家族支援実行体制の整備、②利用者特性を考慮した活動の多様化と充実、③利用者の取り組み等が確認できる記録の積み

重ねが、挙げられた。登園率の低下からも、家族家庭支援は大きな課題となりつつあり、通所事業所の居宅支援の方向性を真剣に検討する時期になっている。記録のあり方については、職員の業務量や業務改善と密接に絡んでおり、やみくもに増減できない現状にある。過不足なく、記録としての有用性を担保できる改善策を検討したい。

利用者・保護者からの相談苦情申し立てに対する対応と第三者委員の取り組みについては、細かい相談や苦情はあったものの、日々の連絡帳や電話等で家庭と連絡を取り合っていたため、苦情解決規定に沿った処理を必要とする内容はなかった。近隣の方からの苦情では「施設植栽の剪定(業者委託)時の音がうるさい」「利用者が散策中に自宅植木の葉をちぎった」との苦情を受け、係長・施設長で対応をした。第三者委員の取り組みについては、昨年同様、葛飾区社会福祉協議会職員と社協の紹介を受けた区内特別支援学校第三者委員の2名に委員を委嘱した。東堀切くすのき園、白鳥福祉館、きね川福祉作業所の3施設合同の取り組みとして行ったことは昨年同様である。

苦情解決責任者 施設長 岡部智彦
 苦情受付担当者 支援係長 本田直記

(4) 情報開示

施設広報誌を月1回の割合で発行した。うち隔月で地域及び関係機関へ配布を行った。引き続き、記事内容をビジュアル主体とすることで編集作業の負担軽減と、ご家族の好評を同時に得ることができた。苦情対応等の月次報告についても、情報提供が可能となった。事業所ホームページは、新たなシステムを導入し、年度をかけて準備作業を行った。法人・事業所情報をより細かくタイムリーに伝えられるものを準備中である。

(5) 予算執行状況

障害者自立支援法移行3年目。最終の利用者登園率は昨年度を下回ったものの、個々の利用者障害程度区分が高いことから給付費単価が高く、利用人数増、各種加算の取り込みも合わせ前年度比増収となった。このため財政面では一層の安定経営が可能であった。平成23年度中には、新年度葛飾区補助金額が内示され、前年度額相当が担保されたことで平成24年度も安定経営が見込まれている。一方、平成24年4月に給付費単価見直しがあり、一律に減額となるが、給地加算が上がるため試算したところ全体の影響はない見込みである。

平成23年度は、増収に伴って収支差額が増えたが、職員常勤化率の向上及び教育研究の一層の充実を図るとともに、施設設備の拡充にあてて行きたい。

2. 職員配置報告(平成24年3月31日現在)

単位；人

		施設長	係長	主任	事務員	支援員	看護師	栄養士	嘱託医	P T	M T	合計
施設	男	1	1			8 (7)			(2)	(1)		10 (10)
	女			1	1	6 (9)	1	1	(1)		(3)	10 (13)
	計	1	1	1	1	14 (16)	1	1	(3)	(1)	(3)	20 (23)

*嘱託医師3名は、内科医・歯科医・精神科医

* () 内は、有期契約職員

年間移動状況(平成23年4月2日~平成24年3月31日) * () 有期契約職員

	採用	退職	転入	転出
施設長				
係長				
主任				
事務員				
支援員	(11)	1 (9)		
看護師				
栄養士				
嘱託医				
P T		(1)		
M T				
合計	(11)	1 (10)	0	0

常勤職員状況は、自己都合により平成23年6月30日付で1名が退職した。平成24年4月1日付採用常勤職員数は、3人の見込みである。

有期契約職員の入退職は、複数人数に及んでいるが、少しずつ安定の兆しがうかがえた。

理学療法士は契約職員であるが、自己都合により平成24年3月31日付で退職となった。後任は4月1日付で着任見込みである。

3. 利用者状況について(平成24年3月31日現在)

(1) 利用者 現員53人(定員50人)

(2) 性別・年齢別等 (人)

	~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	計
男	0	6	10	2	5	4	0	0	0	27
女	1	4	6	10	2	2	1	0	0	26
計	1	10	16	12	6	6	1	0	0	53

平均年齢：男 29.8歳 女 29.7歳 全体 29.8歳

(3) 障害程度等 (人)

		愛の手帳										小計		計	
		1度		2度		3度		4度		なし					
身障手帳		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	1級	2	2	1	8	1		1				5	10	15	
	2級		1	3	4							3	5	8	
	3級			1								1		1	
	4級														
	5級														
	6級			2								2	0	2	
	なし		1	16	10							16	11	27	
小計		2	4	23	22	1	0	1	0	0	0	27	26	53	
計		6		45		1		1		0		53			

(4) 障害程度 (人)

支援費区分(非該当)				障害程度区分(平均区分5.2)							
	A	B	C	計	6	5	4	3	2	1	計
男					9	11	7	0	0	0	27
女					14	7	5	0	0	0	26
計					23	18	12	0	0	0	53

4. 会議報告

(1) 法人関係

会議名	回数	開催日	参加者
施設長会議	6	4/20 6/15 8/24 10/20 12/15 2/15	施設長
事務担当者会議	1	4/20	施設長 事務員
葛飾地区施設長会議	11	4/14 5/13 6/9 7/7 8/11 9/8 10/15 12/12 1/12 2/14 3/8	施設長
葛飾地区第三者委員会	12	4/4 5/10 6/3 7/5 8/3 9/5 10/4 11/1 12/5 1/10 2/6 3/5	施設長
葛飾地区役職者会議	9	4/26 5/24 6/21 7/19 8/16 11/4 11/15 11/18 12/2	施設長 係長 主任

(2) 施設関係

会議名	回数	開催日	参加者
職員会議	14	4/23 5/28 6/16 7/2 8/12 9/3 10/1 11/5 12/3 1/7 2/3 3/3 3/13 3/26	全職員
支援計画会議		随時	職員
献立会議	12	4/15 5/17 6/16 7/15 8/16 9/6 10/13 11/15 12/13 1/17 2/14 3/13	栄養士 看護師 施設長 職員
運営会議	10	4/22 5/20 6/17 7/11 8/30 10/24 12/16 1/16 2/20 3/9	施設長 係長 主任 事務員
役職リーダー会議		毎週金曜日	主任 リーダー職員

(3) 東京都社会福祉協議会

会議名	回数	開催日	参加者
部会役員会・幹事会	9	4/13 5/11 6/8 9/14 10/12 11/9 12/7 1/11 3/14	施設長
部会総会	3	5/18 10/19 1/18	施設長
部会全体会	1	6/20	施設長
都通研合同学習会	1	9/28 12/22	施設長
従事者共済会代議員会	2	5/19 10/18 3/15	施設長

(4) 区

会議名	回数	開催日	参加者
区内事業所施設長会	4	7/12 8/16 11/29 3/7	施設長
利用者入所調整会議	2	10/6 1/13	施設長

(5) その他

会議名	回数	開催日	参加者
町会総会	1	4/24	施設長 主任
町会新年会	1	1/29	施設長 主任
地域ふるさと祭打合せ	2	4/7 2/9	係長

5. 研修報告

(1) 施設内

研修名	回数	開催日	参加者
摂食嚥下研修	2	8/26 10/25	職員(全員)
記録の書き方	1	1/7	職員(全員)
知的障害者とスポーツ	1	2/24	職員(全員)
アロマ体験講座	1	3/3	係長 職員(山崎) 一般19人
音楽療法	1	3/21	職員(全員)

(2) 法人研修

研修名	回	開催日	参加者
新任役職者研修(主任)	1	4/18	職員(保永)
人事制度説明会	1	5/16	職員(潮田、赤崎、須藤)
法人地区全体研修	1	5/17	全職員
サービスマナーC研修	1	5/23	職員(竹矢)
リスクマネジメントB研修	1	5/31	職員(越前谷、松原、赤沼)
クレーム対応研修	1	6/4	主任 事務員
声かけノート	1	6/10	主任
新任職員研修(中途)	1	6/22	職員(赤崎)
リスクマネジメントC研修	1	6/27	職員(越前谷)
ストレスマネジメント	1	7/4	職員(荒井)
記録の書き方研修	1	9/3	職員(永田)
武蔵野会セミナー	1	9/10	職員
新任フォローアップ研修	2	9/12 9/22	職員(潮田、赤崎、須藤)
大地区考課者研修	1	10/11	係長
階層別主任研修	1	10/17	主任
地区接遇B研修	1	10/21	職員(小山内、黒田、村上、小田島、松原、檜垣、須藤、潮田) 係長
施設長研修	1	10/27~28	施設長
理念研修	4	11/8他	全員
地区研修(1/4の奇跡)	1	11/24	全員
係長研修コーチング	1	11/28	係長
地区研修成年後見制度	1	12/5	役職者 職員22人
栄養士研修	1	12/6	栄養士
業務標準化研修	1	12/10	職員(濱中)
看護師研修	1	12/15	看護師 施設長
虐待防止研修	1	1/23	職員(竹矢)
リスクマネジメント研修	1	2/4	職員(小山内)
地区実践報告会	1	2/18	全員
地区研修まとめ	1	2/28	全員
大島新任研修	1	3/27~29	職員(渡辺、関口、中村) 施設長

(3) 外部研修

研修名	回数	開催日	参加者
実践型人材養成システム研修	9	4/2・3・4・5 5/20 6/3 6/24 8/19 9/16	職員(赤崎・須藤)
嚙下内視鏡検査見学	2	4/15 5/20	看護師 職員(濱中・黒田)
園芸療法入門講座	1	4/19	職員(保永)
スポーツリーダー養成	1	5/12	職員(潮田)
東社協階層別研修・新任	1	5/24・25	職員(潮田)
松戸摂食嚙下研修会	9	5/27 6/10 7/8 10/7 11/11 12/9 1/20 2/10 3/16	看護師 栄養士
障害者福祉事業経営セミナー	1	5/27	係長
合同採用者研修	1	5/30~31	職員(須藤、赤崎)
全国施設長会議	1	6/7~8	施設長
東社協栄養調理スタッフ	1	6/11	栄養士 看護師
厨房機器セミナー	1	6/15	栄養士
タクティールケア	1	6/18~19	職員(竹矢・松原)
熱中症の予防と対応	1	6/27	看護師
サービス管理責任者研修	2	6/28 7/4~5	職員(保永)
会計ソフト研修	1	7/21	事務員
摂食嚙下研修	2	7/31 8/27~28	栄養士・看護師
東社協階層別研修・中堅	1	8/25~26	職員(赤沼)
大震災医療介護公開シンポ	1	8/25	係長
福祉従事者研修10	1	9/27	職員(濱中)
東社協都通研合同研修会	1	9/28	職員(山崎)
OJT研修	1	10/12	職員(荒井)
総合福祉法研修	1	10/17	係長 獲得
東社協リスクマネジメント	1	10/24	職員(荒井)
福祉従事者研修12	1	10/26	職員(黒田)
雇用・社会保険講習会	1	10/28	事務員
労働基準法に関する学習会	1	11/2	事務員
東社協コミュニケーションスキル	1	11/5	職員(小山内)
栄養調理スタッフ学習会	1	11/11	職員(岩本)
自閉症セミナー	1	11/12~13	職員(桧垣)
社会保険事務講習会	1	11/15	事務員
国リハ施設運営管理研修	1	11/16~18	係長
東社協新会計基準	1	11/21	事務員
自閉症実践セミナー	1	11/26	職員(永田)
福祉従事者研修	1	11/28	職員(松原)
OJT研修	1	12/12	職員(荒井)
大人摂食嚙下研修	1	12/14	主任
国リハ研修・行動障害コース	1	12/14~16	職員(竹矢)
個別支援計画	1	H24.1/28~29	職員(黒田)
給食施設事例報告会	1	1/30	栄養士
業務用冷凍職員フェア	1	2/15	栄養士
メディケアフーズ展	1	2/21	栄養士
骨格提言学習会	1	2/23	施設長
労働契約解説セミナー	1	3/2	事務員
障害児の親のメンタルヘルス	1	3/11	職員(小田島)
障害者虐待防止・権利擁護研修	1	3/19	施設長・職員(竹矢)
東京摂食嚙下研修会	1	3/24	看護師

6. 保守点検及び修繕報告

(1) 建物維持管理及び保守点検関係

夜間及び休業日については施設が無人となるため、建物警備に関して専門業者と機械警備契約を結んでいる。近隣町会へ会議室貸し出しの可能性があるので、2種類の警備方式を設定している。

建物全体は築10年目であるが、大きな修繕等はなく以下の通り通常の建物維持契約の範囲で保守点検等を実施した。玄関前駐車場については、送迎車両や駐車車両、歩行者歩行スペース相互の利便性を考慮し、花壇スペースの撤去を行うとともに、正門の改修工事を行った。

	実施内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
機械設備	冷暖房機器		○						○				
	天井換気扇		○						○				
	ガス給湯器		○						○				
	加圧ポンプ		○						○				
	キュービクル		○		○		○		○		○		○
定期清掃	床ワックス	○		○		○		○		○			
	床剥離											○	
	窓ガラス					○						○	
	グリストラップ		○			○			○			○	
	屋上	○				○				○		○	
	流し台	○		○		○		○		○		○	
	厨房用換気ファン	○		○		○		○		○		○	
特別清掃	照明器具							○					
	天井・壁面							○					
	サッシ					○							
	排水溝・倉庫							○					
	空気吹出口・換気扇							○					
	沈砂槽・雨水槽							○					
	ブラインド							○					
その他	自動ドア								○				
	シャッター						○					○	
	エレベーター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	電話装置					○							
	害虫駆除			○				○					
	消防設備						○					○	
	植栽剪定・消毒			○			○						
排水管高圧洗浄						○							

* 毎営業日の館内清掃は昨年から同一業者に委託している。

(2) 車輛保守点検

常時整備された状態で使用する等、日頃から点検業務に努めた他、職員の安全運転教育を徹底することで事故防止に努めた。

7. 固定資産物品・備品購入

購入備品一覧	数量	金額
ホームページ更新解析用ソフト	1	1,323,420
高速ブレンダーミキサー	1	207,900
発電機	1	144,131
給湯器	1	300,867
カラオケ機	1	769,020
合 計		2,745,338

8. ボランティア受け入れ

年間を通じ受け入れを行った。これからも気軽に立ち寄り、自主自発的なボランティア活動が行えるよう、実践報告や雰囲気作りに努めたい。

平成23年度 ボランティア実績延べ人数

月	定 期	不定期	月	定 期	不定期	月	定 期	不定期
4	0	3	8	0	6	12	0	11
5	0	16	9	0	2	1	0	3
6	0	17	10	0	2	2	0	7
7	0	18	11	0	5	3	0	14
小計	0	54	小計	0	15	小計	0	35

9. 実習生受け入れ

本年度の受け入れ実績については下表のとおり。新年度も積極的な受け入れを行いたい。

受入月日	要請施設・団体	人数
6/20・21	江戸川特別支援学校	1
8/9・10	葛飾小学校新任教諭	1
10/5	江戸川特別支援学校	1
10/6	江戸川特別支援学校	1
10/19～21	葛飾特別支援学校	1
10/24～26	葛飾特別支援学校	1
11/14～16	葛飾特別支援学校	1
1/23～27	東京医療秘書専門学校	3
1/30～2/3	東京医療秘書専門学校	4
2/13～27	聖徳大学短期大学部	1
3/5～16	千葉経済大短期大学部	3

10. 地域交流計画及び行事計画

(1) 地域交流行事

①「第10回くすのき祭」 9月24日（日）11:00～15:00

当初年間予定では、7月中旬の開催を予定していたが、平成23年3月に発生した東日本大震災に伴う社会的な節電要請に応え、開催時期を2カ月延期する対応をとった。内容としては、例年通

り行事を通して地域の方にくすのき園を知ってもらう企画とした。日中の利用者支援を職員が行えないため、基本的には昨年同様、利用者については自由参加方式（利用者参加時は家族もしくはヘルパー等の付き添いを依頼）とした。模擬店やバザー、子供が楽しめる企画をふんだんに用意し好評を得た。同時に、被災地義援金の募集を行い、多数の募金をお預かり（募金については法人本部を通じ日本赤十字社へ送られた）した。

②「アロマテラピー講習会」 3月3日（土）10：30～12：00

外部講師を招き、当園保護者及び近隣地域の方を対象にした講習会を実施した。当日はあえて利用者登園日に開催し、利用者の様子をさりげなく視野に入れていただく配慮を行った。利用者との直接的な接触はなかったものの、「また参加したい」との感想をいただき、くすのき園の雰囲気は十分に感じ取っていただけたようだった。今後のボランティア養成にもつなげていきたい。

(2) 年間行事

①宿泊旅行

前年度の課題であった「小さな車は心配」「大きな集団の方が良い」という保護者の声を考慮し、小・中集団による宿泊旅行を実施した。実施回数は昨年と同じ7回とし、旅行先は鬼怒川方面に限定とした。東日本大震災による風評から、保護者より不安の声が寄せられたが、現地の状況や社会的状況を細かく説明し、実施への理解を得た。集団の規模によりやむなく休園日を設定したが、保護者より「休園日は作らないでほしい」との反省が上がり、次年度の課題としたい。

	月日	旅行先	利用者数	職員数
1回目	6/23～24	栃木県鬼怒川方面	5	6
2回目	7/7～8		5	6
3回目	9/8～9		10	13
4回目	9/15～16		6	7
5回目	10/14～15		11	13
6回目	10/28～29		7	10
7回目	11/11～12		8	9

②クリスマス会 12月20日（火）10：45～11：45

昨年に引き続き午前中に実施した。企画はボランティアによるコンサートと、全員合唱とし、家族（参加17人）とともに楽しむことができた。毎年好評のプレゼントとクリスマス給食は本年も利用者には大変好評であった。

③新年会（餅つき）平成24年1月6日（金）10：45～11：30

送迎委託業者の協力を得て利用者全員が餅つきを行った。冬期長期休業の後だったが、にこやかな笑顔が見られ新年にふさわしい行事となった。ついたお餅はティータイム時にお汁粉として提供した。

④新成人を祝う会 1月7日（土）

本年度は4人の新成人を祝う会となった。ご家族からこれまでの成長をたどる写真をお預かりし、プロジェクターで投影した。他の保護者の皆さんの参加もあり、新年にふさわしい華やいだ雰囲気で実施することができた。

11. 防災避難訓練計画

雨天等で毎月の実施はできなかったが、火災による避難訓練を中心に実施した。主な訓練内容は通報・消火・避難誘導・避難経路状況把握といった一連の流れを訓練する「通報・避難訓練」を行った。近隣地域との防災協定は締結できていないが、地域主催の防災訓練に職員が1人オプザーバー参加した。

12. 給食

(1) 年間計画に基づき実施した。

①主食セレクト 月に1回の割合でごはんまたはロールパンのセレクトを実施した。

②主菜セレクト 3ヶ月に1回の割合で実施した。

③行事食 年間7回（入所式、クリスマス等）

④お楽しみ給食

3回実施した。「東京の郷土料理」等といったテーマを設け、普段とは違う給食を楽しんだ。当初の予定にはなかったが、「すしバイキング」を2月24日に実施した。実際に利用者 앞에서握り寿司の実演を行い、利用者から好評を得た。

その他、摂食嚥下の研修考察を重ねた結果、数名の利用者について食形態を「刻み食」から「柔らか食」に変更した。

(2) 残菜・嗜好調査 3月に予定通り実施した。

(3) 保護者対象試食会

前年度に引き続き、参加日を保護者に選択してもらう形を取り、食後のアンケートの結果、味つけ、量、盛り付けともに満足度は高かった。事前に給食写真、料理レシピの一部を用意した。

(4) ティールーム 3月9日（金）

年度末恒例の催しとして、利用者を対象とした喫茶タイムを行った。めいめいが好きなケーキと、お茶を選択し、楽しいひと時となった。

13. 保健

(1) 日常の健康管理

日常の利用者健康管理を看護師が中心に行った他、嘱託医が定期的に来園し、看護師と共に施設内を巡回し、利用者健康状態の把握に努めた。

(2) 内科・精神科嘱託医による施設内巡回及び健康相談

来園日は看護師と共に施設内を巡回し、利用者の健康チェックを行った。この他、家族からの相談、インフルエンザ予防接種（利用者・職員）を行った。管理栄養士との合同相談では、栄養指導も併せて行うことにより、利用者の肥満対策に大変効果があった。ご家族自身の相談を受けることもあり、専門家からのアドバイスに感謝の声をいただいている。

(3) 定期健康診断

4月20日（水）、21日（木）に、葛飾検診センターの協力を受け施設内で総合検診を実施した。結果を家庭に報告すると共に2次検診が必要な方については、それぞれの家庭の判断で行っていただいた。その他、検便による細菌検査及びO-157検査を全利用者対象に行った。

(4) 歯科検診

6月8日（水）、12月7日（水）の2回、嘱託歯科医師により施設内で実施した。終了後、医師から表彰対象者の推薦をうけ、数名に表彰状を授与している。

(5) 摂食・嚥下指導

歯科検診とは別に、利用者口唇訓練及び摂食指導のため歯科医師（検診嘱託医とは別）が隔月（年6回）で来園し、利用者および職員に指導を行った。脳性まひ利用者にとって食物の上手な取り込みや咀嚼、嚥下は、生命維持にかかわる大切な課題となるため、今後も継続したい。

上記とは別に嚥下状態の検査（内視鏡VE検査）を訪問診療という形態で実施した。ご家族の付き添いをお願いし、施設内で実施したが、職員にとっても「咀嚼と嚥下」に関する学習の機会となり大変有効であった。

14. 業者委託等（給食・送迎）

（1）給食（アイビス株式会社）

利用者および施設の細かい要望等を取り入れた給食を提供した。

（2）利用者送迎（宮園自動車）

①日常の送迎

日常の送迎については利用者及び送迎時間に大きな影響が出ることはなかった。

②その他の送迎

一日外出では主に施設公用車の運転を行う他、区内ショートステイの送迎を行った。

③施設内協力

運転手（5人）は、玄関周りの清掃や、小破修理等で協力を行ってくれた。添乗員（4人）については、利用者支援のサポートに入る他、食堂の清掃を行った。

（3）館内日常清掃

ワックスがけ等の館内定期清掃及び日常清掃について、委託業者により実施した。

（4）講師

①理学療法士：年間44回 水曜日午前（機能訓練）

年度途中で新たに理学療法士を採用し、利用者の機能訓練を行った。施術時間及び該当利用者人数の関係から1回あたりの利用者数は、該当利用者の半数であったが、大きな混乱なく実施できた。職員指導も適宜行った。

②音楽療法士：年間40回 火曜日・金曜日（音楽療法）

知的障害者への音楽療法は、心の安定や自己表現の表出援助につながっており、楽しみにしている利用者も多い。情緒の安定に寄与する音楽の特性を生かした取り組みは、今後ますます重要となる。

以上